

UNIVAS(ユニバス)設立時の体制

会長 鎌田薫氏
(早稲田大前総長)

副会長 有森裕子氏
(女子マラソン五輪メダリスト)

川原貴氏
(元国立スポーツ科学センター長)

専務理事 池田敦司氏
(プロ野球楽天元副社長)

顧問 川淵三郎氏ら
(元日本サッカー協会会長)

主な大学の参加状況

参加 青山学院、立命館、法政、大阪

1日現在申し込みなし

京都、筑波、関西学院、慶応

八学大など197大学加盟

ユニバス発足 拡大なるか

全米大学体育協会(NCAA)を参考にした国内の新統括組織「大学スポーツ協会(UNIVAS)」が1日、八戸学院大など197大学が加盟して発足し、初代会長に就任した早稲田大の鎌田薫前総長がスポーツ庁の鈴木大地長官を訪れて設立を報告した。設立時に目標とした約200大学に迫る数字だが、参加を見合わせた大学もあり、ビジネス化へ長期戦略と収益向上の課題を抱えながら「2025年に400大学」の目標へ規模をどう拡大するかが問われる。

鈴木長官は鎌田氏に「組織ができ、学生同士や大学同士のつながり、地域とのつながりが生まれる」と期待を表明。鎌田氏は「大学スポーツが一丸となって前に進んでいく態勢づくりは喫緊の課題だ。頑張っている」と決意を述べた。

日本版NCAAとなるUNIVASには大学のほか競技団体など31団体も加盟。設立を主導したスポーツ庁によると、創立メンバーとなるのは4月26日までに加盟申請した大学と団体が対象。197大学に入っていない早大、東京大、九州国際大は間に合う見通し

で、大学数は200に達する見通しだ。一方、筑波大、慶応大、京都大などが現段階で参加の意思を示していないという。同庁は「有名大だけをターゲットにしているわけではない」ですが、収入の多くをスポンサーに頼るだけに、ブランド力のある大学も含めた多くの大学の取り組みも求められそうだ。

1年目に大学部活動の事故防止に向けたガイドラインを策定するほか、パワーハラスメントや暴力事案に対する相談窓口を設置。公式サイトでの地区大会を含めた約600試合の映像配信、対外試合に出場できる学業成績の基準を設けるための実験にも取り組む。